


ふりがな 氏名	ながお けんたろう 長尾 健太郎	都道府県 愛知県	
所属/肩書	愛知県立みあい特別支援学校 教諭 (ESD部主任/校務分掌)		
私のESD活動	学校内でESDが理解・実践されるよう、ESD活動の組織化を図ろうと取り組み始めたばかりです		

活動の概要（特に、取り組みの独創性、革新性、成果について説明してください）

みあい特別支援学校は、2014年にユネスコスクールに加盟し、テーマ「共生社会の実現」に向けて全校で三つの活動に取り組んでいます。一つ目は「自分の力を発揮する活動」、二つ目は「社会に参加する活動」、三つ目は「社会に役立つ活動」です。

「自分の力を発揮する活動」では、小学部から児童生徒それぞれの障害特性に合わせた課題設定と指導方法により、個々の力を発揮する土台を築き、継続的に学習を積み上げることで主体的な行動ができる児童生徒を目指しています。

「社会に参加する活動」では、小学部と中学部において学校間交流や居住地交流に取り組んでいます。自己紹介やゲームを一緒に行い、お互いの理解を深めるよい機会となっています。高等部では、様々な場面で交流活動を展開しています。作業学習では、園芸班が近所の老人会の方々とさつまいもの苗植え、幼稚園児を招いて芋ほり交流を行ったり、地域のボランティアの方々と学校花壇の整備をしたりしています。保健体育の授業では、老人会の方を講師に招いてグラウンドゴルフを教えていただいたり、美術では、プロのカメラマンの方に写真の撮り方を教えていただいたりしています。また、校外学習を数多く行い、児童生徒が地域で活動することを重視しています。駅周辺での挨拶運動をしたり近隣の学校の文化祭に参加したりして交流を深めています。さらに今年度はアートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクトにも参加することができ、ジャマイカの学校と交流をしていく予定です。

「社会に役立つ活動」では、高等部生徒会が中心となりエコキャップ活動を全校で取り組んでいます。また、地域の施設での清掃活動にも取り組んでいます。

○「愛知県立みあい特別支援学校」 <http://www.miai-sh.aichi-c.ed.jp/pg395.html>

ESD活動をさらに深めるために、今後どのような活動を展開していこうと考えていますか？またESD全体（地域や日本国内、国際）の発展にどのように貢献したいと思いますか？

現在の取組の成果として二つのことが挙げられます。一つ目は、積極的な体験活動によっていろいろな方々と触れ合い社会体験の機会が増えてきました。それによって児童生徒の中にいろいろなことに自分から挑戦してみようという姿勢がみられてきました。二つ目は、学校内の日常的な清掃活動が地域の清掃活動へと広がってきたように、学校内の活動から学校外の活動へと広がりがみられ、児童生徒の自立や社会貢献へのつながりが強まってきました。

しかし、職員へのESD活動の啓発という面では、まだ課題があると感じています。外部講師を招いて現職研修を開催し、組織内の意識向上とともに、組織活動の定着を図っていくことが重要だと感じています。その上で現在ある活動をさらに充実させ、新しい活動を取り入れ発展させていきたいです。

また、現在、特別支援学校でユネスコスクールに加盟している学校は全国に7校あります。各校の取組や課題などの情報交換を行い、今後の連携を深められるような機会をもちたいと考え、ESD コンソーシアム愛知の中部大学宮川秀俊教授の御協力を得て、今年の8月末に「多文化共生のための全国特別支援学校ESDフォーラム」を開催します。全国の特別支援学校のESD活動の展開に寄与したいと考えています。